

作成日 1996.03.05.  
改訂日 2021.03.15

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

|              |                             |
|--------------|-----------------------------|
| 製品名          | M-128 ピーコック                 |
| 会社名          | 日陶顔料工業株式会社                  |
| 住所           | 三重県四日市市白須賀2丁目1番9号           |
| 担当部門         | 技術課                         |
| 電話番号         | 059-332-2231                |
| 緊急時の電話番号     | 059-332-2231                |
| FAX番号        | 059-331-2101                |
| メールアドレス      | nittoganryo@nittoganryo.com |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 陶磁器、ガラスの着色等                 |

### 2. 危険有害性の要約

#### 注)GHS分類

#### 物理化学的危険性

|              |        |
|--------------|--------|
| 火薬類          | 分類対象外  |
| 可燃性・引火性ガス    | 分類対象外  |
| 可燃性・引火性エアゾール | 分類対象外  |
| 支燃性・酸化性ガス類   | 分類対象外  |
| 高圧ガス         | 分類対象外  |
| 引火性液体        | 分類対象外  |
| 可燃性固体        | 区分外    |
| 自己反応性化学品     | 分類対象外  |
| 自然発火性液体      | 分類対象外  |
| 自然発火性固体      | 区分外    |
| 自己発熱性化学品     | 区分外    |
| 水反応可燃性化学品    | 区分外    |
| 酸化性液体        | 分類対象外  |
| 酸化性固体        | 分類できない |
| 有機過酸化物       | 分類対象外  |
| 金属腐食性物質      | 分類できない |

#### 健康に対する有害性

|                    |        |
|--------------------|--------|
| 急性毒性(経口)           | 分類できない |
| 急性毒性(経皮)           | 分類できない |
| 急性毒性(吸入:ガス)        | 分類できない |
| 急性毒性(吸入:蒸気)        | 分類できない |
| 急性毒性(吸入:粉じん)       | 分類できない |
| 急性毒性(吸入:ミスト)       | 分類対象外  |
| 皮膚腐食性・刺激性          | 分類できない |
| 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性    | 分類できない |
| 呼吸器感作性             | 分類できない |
| 皮膚感作性              | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性           | 分類できない |
| 発がん性               | 分類できない |
| 生殖毒性               | 分類できない |
| 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) | 分類できない |
| 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) | 分類できない |

#### 環境に対する有害性

|           |        |
|-----------|--------|
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 水生環境急性有害性 | 分類できない |
| 水生環境慢性有害性 | 分類できない |

**ラベル要素**

**注意喚起語** 該当するGHSラベル要素なし  
**危険有害性情報** GHS分類情報なし  
**注意書**

**予防策**

- ・使用前にSDSを入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・必要に応じて個人保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
- ・換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
- ・粉じんの吸入をさけること。
- ・汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
- ・保護手袋を着用すること。
- ・取り扱い後はよく手を洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

**対応**

- ・吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・呼吸に関する症状がでた場合には、医師の診断、手当てを受けること。
- ・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・汚染された作業衣を作業場から出さず、再使用する前に洗濯すること。
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合、無理に吐かせず、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
- ・眼に刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること。
- ・ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・漏出物は回収すること。

**保管**

- ・過度の湿気を避け、常温にて、屋内倉庫に保管する。

**破棄**

- ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い、産業廃棄物として処理する。

**3. 組成及び成分情報**

**分類** 複合酸化物系顔料グリーン色  
**単一・混合物の区分** 亜鉛、クロム、コバルトの複合酸化物の単一製品  
**英文名** COBALT CHROMITE GREEN SPINEL (CPMA)  
**化学式** CoCr2O4  
**C.I.GN** Pigment Green 26  
**C.I.No.** 77344  
**CAS No.** 68187-49-5\*  
**官報公示番号** 1-561,1-267,1-284  
**化学物質管理促進法(PRTR法)**  
 第1種指定化学物質 87号 クロム 及び三価クロム化合物(Crとして50%)  
 132号 コバルト及びその化合物(Coとして14%)  
**労働安全衛生法: 第57条に定める名称を通知すべき物質**  
 142号 クロム及びその化合物(Crとして50%)  
 172号 コバルト及びその化合物(Coとして14%)

**4. 応急措置**

- 吸入した場合** :被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 呼吸に関する症状がでた場合には、医師の診断、手当てをうけること。
- 皮膚に付着した場合** :皮膚を速やかに洗浄すること。  
 多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は医師の診断、  
 手当てを受けること。
- 目に入った場合** :水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。  
 目の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合** :無理に吐かせず、直ちに医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

自体は不燃性である。  
 周辺火災の場合 :速やかに容器を安全な場所に移す。  
 消火剤 :水、二酸化炭素、泡、粉末

6. 漏出時の措置

床面などにこぼれた場合には、直ちに真空式吸引器などにより空容器に回収した後、掃き取り、ウエス等で拭き取る。回収物は廃棄処理する。  
 着色粉末のため、飛散及び付近の汚染に注意する。  
 作業者は適切な保護具(8.ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入をさける。  
 関係者以外の立ち入りを禁止する。  
 環境中に放出してはならない。  
 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。  
 安全取り扱い注意事項 使用前にSDSを入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 必要に応じて個人保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。  
 適切な保護手袋を着用すること。  
 換気が十分でない場合には、適切な呼吸用保護具を着用すること。  
 粉じんの吸入をさけること。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用し、取り扱い後はよく手を洗うこと。  
 環境への放出をさけること。  
 保管 過度の湿気を避け、常温にて、屋外倉庫に保管すること。  
 容器を密閉して換気の良い場所で施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:労働省 :0.02mg/m3(コバルト及びその無機化合物)  
 注)許容濃度:日本産業衛生学会 :Coとして 0.05mg/m<sup>3</sup> (コバルト及びコバルト化合物)  
 Crとして 0.5mg/m<sup>3</sup> (3価クロム化合物)  
 吸入性粉塵 2mg/m<sup>3</sup> (第3種粉塵、その他無機及び有機粉塵)  
 総粉塵 8mg/m<sup>3</sup> (第3種粉塵、その他無機及び有機粉塵)  
 :ACGIH TLV :Coとして 0.02mg/m3(Cobalt,elemental and inorganic compounds)  
 Crとして 0.5mg/m<sup>3</sup> (Metal and CrIII compounds)  
 :OSHA PEL :Crとして 0.5mg/m3(Chromium(III)compounds)

設備対策 発散源を密閉する設備、局所排気装置又は、プッシュプル型換気装置を設けること。  
 上記の措置が著しく困難なとき、又は臨時の作業を行うときは、全体換気装置を設ける等労働者の健康障害を予防するために必要な措置を講ずること。  
 局所排気装置及びプッシュプル型換気装置の構造、性能等について一定の要件を満たすこと。  
 定期自主検査、点検をおこなうこと。  
 設備計画の届出  
 粉じんを含有する気体を排出する製造設備の排気筒、局所排気装置、プッシュプル型換気装置には、粉じんの粒径に応じた除じん装置を設けること。

保護具 呼吸器の保護具:防塵マスク等適切な呼吸保護具を着用すること。  
 眼の保護具:側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型等適切な眼の保護具を着用すること。  
 手の保護具:ゴム手袋、プラスチック製手袋等適切な保護手袋を着用すること。  
 皮膚及び身体の保護具:作業着、安全靴、保護長靴。必要に応じて個人用の保護衣、保護面等を使用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観・臭気: グリーン色粉末 無臭

密度 : 5.3±0.2g/cm<sup>3</sup>

融点 : -

溶解性 : 水; 不溶

: 酸; 難溶

: アルカリ; 不溶

: 有機溶剤; メタノール、ブタノール、MEK、キシロール ; 不溶

## 10. 安定性及び反応性

可燃性 : なし

引火点 : なし

爆発限界 (上限; なし、下限; なし)

自己

酸化性 : なし

安定性 : 通常の扱いにおいては安定

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)

データがなく、『分類できない』とした。

急性毒性(経皮)

データがなく、『分類できない』とした。

急性毒性(吸入: ガス)

データがなく、『分類できない』とした。

急性毒性(吸入: 蒸気)

データがなく、『分類できない』とした。

急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト)

データがなく、『分類できない』とした。

皮膚腐食性/刺激性

データがなく、『分類できない』とした。

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

データがなく、『分類できない』とした。

呼吸器感作性

データがなく、『分類できない』とした。

皮膚感作性

データがなく、『分類できない』とした。

生殖細胞異変原性

データがなく、『分類できない』とした。

発がん性

データがなく、『分類できない』とした。

生殖毒性

データがなく、『分類できない』とした。

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)

データがなく、『分類できない』とした。

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)

データがなく、『分類できない』とした。

吸引性呼吸器有害性

データがなく、『分類できない』とした。

## 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性

データがなく、『分類できない』とした。

水生環境慢性有害性

データがなく、『分類できない』とした。

**13. 廃棄上の注意**

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い、産業廃棄物として処理する。  
内容量や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

**14. 輸送上の注意**

国連分類・番号: 国連の定義上危険物には該当しない。  
容器が破損しないよう、水漏れや乱暴な取扱いを避ける。

**15. 適用法令**

水質汚濁防止法

化学物質管理促進法 (PRTR):

第1種指定化学物質 87号 クロム及び三価クロム化合物

132号 コバルト及びコバルト化合物

労働安全衛生法: 第57条に定める名称を通知すべき物質

142号 クロム及びその化合物

172号 コバルト及びその化合物

第57条に定める名称を表示すべき物質

172号: コバルト及びその無機化合物

特化則: 特定化学物質第2類物質、管理第2類物質

別表第一

13の2号: コバルト及びその無機化合物

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

**16. その他の情報**

文献 1) 許容濃度等の勧告 (2006年度版) 日本産業衛生学会

2) ACGIH 化学物質の許容濃度 (1999年度版)

3) OSHA 危険有害物質の周知基準 (第5版)

4) IARC モノグラフ

参考文献 GHS分類結果一覧 (独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE))

**御願い**

- ・本「安全データシート」は、本製品を適切にご使用して頂くために、必要かつ注意しなければならぬ事項を簡潔にまとめたものであり、通常の見取り図を対象としたものです。
- ・本品の使用方法については「安全データシート」を参考の上、使用者の責任においてお決め下さい。
- ・ここに記載された内容は、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。
- ・記載内容のうち、含有量、構成比、物質、化学的性質などの値は品質保証値ではありません。
- ・本「安全データシート」に記載されている内容は、情報提供であっていかなる保証をするものでもありません。